

# 「地域と学校の未来を考える会」を終えて

1月26日(火)、前々日からの大雪で交通障害が続く中、午後6時から約1時間半、標記の会を開催しました。参加者は、地区民(保護者、学校評議員、民生・児童委員)11名、生徒(2年生)11名、学校職員6名の計28名で、4グループに分かれ、活発な意見交換が行われました。

## 1 この懇談会で出された主な意見

### 地域による学校支援について(改善点や新しいアイデア)

- 講演会では、ただ話を聴くだけでなく、講演後に生徒がグループで話し合う形式も取り入れる。
- “町に移住してきた人”や“漁業や農業を営む人”を招き、地域の魅力について語ってもらう。
- 子どもや赤ちゃんと触れ合う体験を通して、父性や母性を育み、親の気持ちを知る。
- 高齢者がもっている様々な技術(畑づくり・裁縫)を学ぶ機会を設ける(高齢者の生きがいにもなって、地域貢献活動にもなる)。
- 「降雪時の交通安全パトロール」、「街灯の増設」、「非常時でのスクールバスの導入」等、安心・安全に関する整備の推進。
- 良寛学習の充実(図書館ボランティア、地域のガイド、小木ノ城や海岸に関する学習の導入)。
- 「郷土料理」、「出雲崎おけさ」、「昔からの遊び」、「古典芸能」等、伝統に関する学習の機会の充実を図る。
- 「資源回収」は、生徒や保護者に加えて地域住民も協力できる体制にし、中学生がいない地区もカバーする。
- 「グラウンドの草取り」では、地区民にも参加を募る。
- IT教育や様々な最先端技術を学ぶ機会を設ける。
- 職場体験の事業所の種類を増やす(病院・農業等)。
- 「風景画講習会」には保護者も参加できるようにする。  
あるいは、1年生や3年生も参加できるようにする。



### 学校による地域貢献について(改善点や新しいアイデア)

- 現在行っている「地域挨拶運動」を、小学校の玄関前や駅前付近だけでなく、町の各所で行うと共に、日数を増やしたり、参加学年及び生徒の対象を広げたりして実施する。
- 中学生が大人や小学生に教える活動をする(パソコン・総合で学んだこと・小学校の勉強等)。
- 生徒の地域行事への参加の推進(さいのかみ・敬老会・クリーン作戦・イベントボランティア)。
- 地域の行事や祭りに中学生が運営面から参加する。また、行事の一環として、中学生が特産品を(作って)販売したり、良寛学習の成果を発表したりする場面を設ける。
- 「町歩きガイド養成講座」を発展させ、生徒が観光客をガイドする。
- 「ゆるキャラに関するイベント」、「紙ふうせんをPRする活動」の企画。



- 「近所の独居訪問」、「福祉施設のお手伝いや親子奉仕作業の機会を増やす」等によりボランティア活動を充実させ、コミュニケーション能力を育む。
- 中学生がお年寄りと寄り添うような避難訓練を実施する等、災害時に重要な役割を担えるようにする。
- 中学生が出雲崎の魅力を紹介するポスターを作成し、情報館に掲示する。
- 海岸清掃活動。
- 「生涯学習フェスティバル」(11月)に、中学生も参加する。

## 「地域活性化」や「郷土愛を育む」為の方策（多くの若者が住む為のアイデア）

### 【観光等】

- 出雲崎をわかりやすく知ることができるパンフレットやポスターの作成  
（中学生の発想で作成する，大祭等も宣伝する，町外各所に置く，インターネットでの発信）
- 地元の食材を利用したパンやスイーツの店を出す（店舗提供，農家や業者と共同開発）
- ロケーションを売りにしたおしゃれなレストランを名物にする（出店希望の若者への支援）
- 町並みの景観（妻入り）を生かした町づくり（イートイン，浜焼き，雑貨店等がある町並み）
- 温泉施設等の活用を考える

### 【生活環境，労働環境の整備，空き家の利用等】

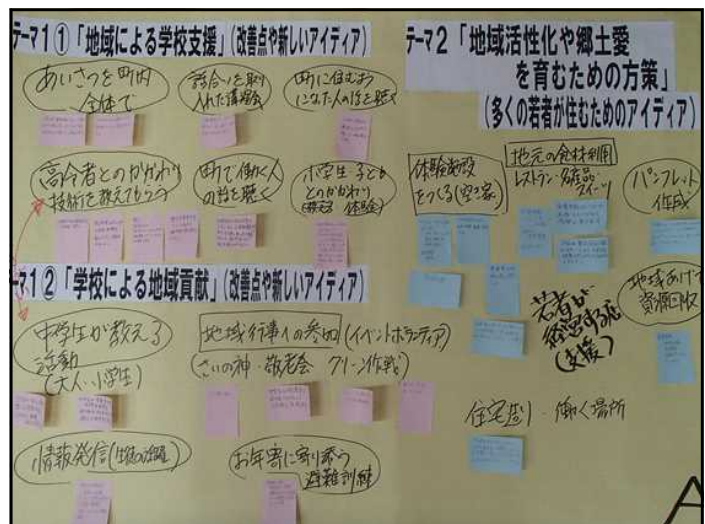
- 空き家を利用した事業の展開（滞在型施設，格安な価格での住宅提供，借家制度の推進）
- 「ひまわり団地」のように若い世代が住みやすい環境を今以上に整備する
- 体験型施設をつくり，ワークショップ的活動を行う（空き家を利用した自然・農業・漁業体験）
- 近隣都市へのアクセスの整備（働く場所は町外でも，住む場所は町内）
- スーパー，ショッピングモールの誘致
- 企業誘致や若者の起業に対する支援制度（働ける場所を増やす）



### 【郷土愛を育む教育，地域のコミュニティ】

- 特定分野に特化した教育の展開（英会話，IT等）
- 生徒たちの考えたアイデアを，（内容に応じて）町で予算化する
- 小中学校で，郷土の歴史や文化などを体系的に学ぶカリキュラムを作成する
- 職場体験学習の機会を増やす  
（複数の事業所）

- 姉妹都市との交流の推進
- 「町民が世代を超えて深いつながりをもっていること」を，町の魅力としてアピールする（子どもと大人一緒にラジオ体操，地域ぐるみの挨拶運動の展開，子どもの地域行事への参加）
- 親子で町づくりについて話し合う機会を設ける。その内容を持ち寄って，学校で生徒が話し合う。あるいは，生徒と町民が対話する（今回のような）機会そのものが地域活性化になる。



## 2 「地域と学校の未来を考える会」参加者の感想

### （・・・大人の感想 ○・・・中学生の感想）

- ・実現可能かどうかは別として，多角的な意見が聞けたことが収穫でした。
- ・地域の方や中学生と出雲崎の未来について話せて良かった。機会があれば参加したいです。
- ・(懇談会の最中,) 生徒が地域の方から昔の話を聞く場面がありました。楽しそうにお話する町民の笑顔が印象的でした。こうした会自体が，郷土を知り，絆をつくる機会だと思いました。
- ・生徒の生の声を聞いて良かったです。生徒の声町政に実際に反映されれば，自分たちで町づくりに参加したと実感でき，もっと町を好きになるのではと思います。ぜひ，意見をまとめて実現可能なものを町に提出するなどしてもらいたいです。
- ・良いアイデアがたくさん出て，生かしていけそうなものもあった。生徒からは，大人が思いつかないような意見が出てきた。出雲崎の未来を一緒に考えることができ有意義な時間だった。
- ・自由な発言で，良い意見がたくさんありましたが，意見の集約・分類が難しかったようです。

- ・当初参加するのに気が重かったが、中学生や大人の考えを聞いて協力できるものはしたいと思いました。以前や現在やっていることを小学校から中学校へ継続できるようにしてほしいです。
- ・多くのアイデアの中で実践できるものはしてほしいです。新しい試みの懇談会はよかったです。
- ・様々な意見が出て、大勢の知恵を合わせるとこんなことがあるんだなと嬉しく、ワクワクしました。今日の案の中で、自治体でも参考になる意見がいくつかあるのではと思います。次回がありましたら是非参加させてください。
- ・楽しかったです。生徒の意見が聞けて良かったです。親子行事等でもテーマを決めて分散会をしてもよいのでは？風景画講習会には、1～3年の希望者全員が参加できるようにしてほしい。
- ・生徒の生の声を聞くことができ良かったです。学校で人手不足が生じているようなので、ボランティアの募集、人材登録をして活用すると良いと思いました。
- ・生徒一人一人が自分の思っていることをしっかり発表していました。ファシリテーターの進行で一人の意見から話が広がり、中学生も参加していて良かったです。地域や中学生について考える機会をいただきました。ありがとうございました。
- ・子どもの頃を思い出しながら考える良い機会でした。「地域活性化」「郷土愛を育む」という議題は非常に大きなテーマなので、今後も続けていくといいと思いました。
- ・生徒の考え方やアイディアは素晴らしいものだと感じました。お題のとおり「地域と学校の未来」を考える会になって素晴らしかったです。
- 普段こういうことについて自分の考えを話す機会はないので、自分たちが今受けている教育に対して提案することができて良かったです。
- 自分の意見がしっかり言えて良かった。他の班でも良い意見が出ていて、とても良い話し合いでした。これからの中学校・地域に役立てるようにしていきたいです。
- 普段は言えないような話し合いができて、自分の考えが深まりました。
- 自分の要望とか中学生に関する意見しか出せなくて、「地域のためになること」など視野を広くもつことができず反省しています。地域の人や保護者の方たちがたくさん意見を出していて驚きました。もっと視野を広くもてるようになりたいです。
- 懇談会を通して、自分では気づけなかったことにも気付くことができ、「もっと出雲崎町を元気あふれる町にしよう」という気持ちが強まった。
- みんなが意見をもっていました。こういう懇談会をすると、地域や学校が良くなると思います。
- 出雲崎は自然が豊かなので、それを活用することが必要なのかなと思った。中学生が地域のためにできることについて、進んで取り入れたいと思った。
- この会で、地域について以前より考えることができ良かったです。子どもの立場で日頃から思っていたことを話すことができ、また意見を聞いていただいて本当に良かったです。
- 色々な視点での意見がたくさん出て、すごく有意義な会になったと思います。自分でも意見を



しっかりと言えたので良かったです。これが町の活性化につながってほしいなと思いました。

- 地域の方と未来の話ができて良かったです。地域のメリット、デメリットを聞かせていただき、子ども同士、大人同士の話し合いだけでなく、こういう機会もあっていいなと思いました。
- 自分たちの意見で出雲崎町がより良くなればいいなと思いました。たくさんの意見が出て、自分にもできることがあるので、これから実行し、未来の町を更に考えていきたいです。